

西会津町総合計画（第5次）公表案に関する意見等に対する計画への反映とその考え方

No.	素 案	該 当 分 野	意 見 ・ 質 疑 の 内 容	計 画 へ の 反 映	考 え 方
1	計 画 全 体	-	現行計画と比較し、メリハリのある計画となっている。変更点を強調すべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	前計画との変更点のみを強調する表記はできませんが、特に力を入れていく事業の表記については「まちづくりのツボ」として表記しており、分野ごとに色分けするなど見直しを実施し、計画に反映しています。
2			世の中の流れに抗って、何事もプラス思考で計画を策定すべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	次期総合計画は、現計画の評価・検証の結果と人口減少・少子高齢化に伴う問題など、現状と課題を踏まえた上で今後8年間でより良いものになることを目指した計画となっています。次期総合計画では特に「町民一人ひとりが幸せな暮らしを実現できる能力・環境があること」を西会津町にとってWell-beingな状態であると定義して全体に反映しています。
3			計画の理想論は理解できるが、具体的な進め方が重要である。計画策定後、各地域で町民の意見を聞きながら計画を推進するプロセスが必要と考える。	計 画 へ 反 映 済 み	5-1 協働のまちづくり 「4年間の取組の方向性」において、町民の皆さんの多様な参画により協働のまちづくりを具現化すると記載しております。 ご意見を踏まえ、実施計画策定段階における町民参画の具体的な手法については、今後検討を進めていきます。
4			人口減少時の将来シミュレーションを行い、令和22年まで安心して暮らせる計画を要望する。	計 画 へ 反 映 済 み	計画では将来人口を推計しており、人口減少時のシミュレーションを行うことはできますが、これは社会情勢やこれからの取り組みによって大きく影響を受けるものであり、将来予測としてお示しすることは難しいと考えています。町ではデジタル技術を活用した効率的な行政運営等により、その時の状況に合わせたまちづくりを進めていくこととしております。
5			西会津における問題や課題に対する優先順位を明確にするべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	各分野における問題や課題については、「現状と課題」で整理しております。西会津町全体における問題や課題については、検討会議で議論し、重点をおいて押していく項目を「まちづくりのツボ」として整理しております。
6			3世代が明るく暮らせる計画を望む。	計 画 へ 反 映 済 み	次期総合計画では、新たに「Well-being」の考え方を取り入れ、「町民一人ひとりが幸せな暮らしを実現できる能力・環境があること」が「西会津町にとってのWell-biing」として定義し、計画全体に反映しております。また、基本構想でも「未来へ向かうまちづくりの方向性」として未来志向の計画をイメージしています。
7			人口の状況が問題であるとする。人口が1人でも多くなるような計画にしてほしい。	計 画 へ 反 映 済 み	人口減少問題は、本町だけでなく全国的な問題と考えていますが、町でもその対策は最重要課題として、次期総合計画に将来目標人口として令和15年度に4,500人を掲げ、その実現に向け各種取り組みを推進することとしております。
8	序 論	計 画 に 取 り 入 れ た 新 た な 考 え 方	「Well-being」の図が分かりにくい。	計 画 へ 反 映 済 み	「Well-being」の新たな考え方について、総合計画における考え方を表したイメージ図を追加し、計画へ反映しています。
9	基 本 構 想	町 の 将 来 像	将来像について、町長の掲げるものと第5次計画が異なり、町民が困惑してしまう。	計 画 へ 反 映 済 み	町民懇談会や意見公募により頂いたご意見を踏まえ、総合計画検討会議で検討し、町の将来像（仮）について一部修正し計画へ反映しました。

西会津町総合計画（第5次）公表案に関する意見等に対する計画への反映とその考え方					
No.	素 案	該 当 分 野	意 見 ・ 質 疑 の 内 容	計 画 へ の 反 映	考 え 方
10	基 本 構 想	町 の 将 来 像	キャッチフレーズは短くするべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	町民懇談会や意見公募により頂いたご意見を踏まえ、総合計画検討会議で検討し、町の将来像（仮）について一部修正し計画へ反映しました。
11			地元出身者が将来戻ってきたい、関わりたいと思える町を目指すべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	町の将来像の解説文の中で「どこか懐かしさや安心感を抱ける「日本の田舎」を目指します。」と表記し、地元出身者に懐かしさを感じてもらえるような表現にしております。
12			西会津の良さを活かせる構想で最も大切なものに絞り、完遂することが重要である。	反 映 し な い	基本構想の中の施策の体系でも記載しているとおり、町の将来像を実現するために、様々な分野の施策を着実に実行していくことが、Well-beingに繋がるものと考えております。
13	前期基本計画	ま ち づ く り の ツ ボ	これから特に力を入れることを分かりやすく説明するべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	次期総合計画では、これからの4年間、特に力を入れて押していくものを「まちづくりのツボ」として整理しております。ご意見を踏まえ、説明文を追記するなど、皆さんに分かりやすいものとしていきます。
14			7つの項目を「人・仕事・環境」の3大項目にまとめ、力を入れる部分を強調してはどうか。	反 映 し な い	誰もが理解しやすい総合計画とするため、構造を複雑化することはできるだけ避けたいと考えております。 ご指摘のとおり、より広範囲の「ツボ」として強調することはできますが、範囲が広くなりすぎてしまうため、計画には反映しませんでした。
15			「つぼ」の表記を「ツボ」にした方が効果的である。	計 画 へ 反 映 済 み	ご意見を踏まえ、「まちづくりのツボ」に表記を変更しました。
16			人口減少対策に一番注力すべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	人口減少問題は、本町だけでなく全国的な問題であると考えていますが、町でもその対策は最重要課題として、将来の目標人口として令和15年度に4,500人を掲げ、その実現に向け各種取り組みを推進することとしております。
17			西会津町以外の町の指針と言われても気づかないような内容になっている気がします。指針を見たときに「西会津町」と気付けるような要素をもっとネガティブなことを含めて明文化していくことが大事なのではないか？	計 画 へ 反 映 済 み	「まちづくりのツボ」については、検討会議における議論を踏まえ、計画期間中に特に重点的に取り組んで行く分野について、計画全体から抽出して標記しています。計画本文中では、各分野における具体的実施事業などで町の独自性を明文化しています。
18		全 分 野	記載内容の主語（町民なのか町なのか）を分かりやすく表記すべき	計 画 へ 反 映 済 み	全分野で「主語」再確認を実施しました。
19			「AI」を活用した、業務の効率化を検討してはどうか。 具体的には、福祉施設等の入居優先度をAIに判断させ、入居者の選定根拠を明確に示すなど。	反 映 し な い	AIの活用については、全分野における施策を効率的かつ効果的に実施する具体的な手法の一つであることから、計画には反映しませんが、今後の具体的な施策の実施段階において、ご意見を参考にさせていただきます。
20		1-1 子 育 て 支 援	町長が問題と考える「結婚」「住宅整備」に重点的に絞り、根本原因究明と具体的対策を求める。	計 画 へ 反 映 済 み	「結婚」については、まちづくり分野2－4 「移住・定住」の計画の中で具体的な取組として掲載しておりますが、ご意見の趣旨を十分に踏まえて、子育て支援策と合わせて事業を推進していきます。 「住宅整備」については、まちづくり分野2－4 「移住・定住」において、主な実施事業として、新たな住宅の整備について記載されております。

西会津町総合計画（第5次）公表案に関する意見等に対する計画への反映とその考え方

No.	素 案	該 当 分 野	意 見 ・ 質 疑 の 内 容	計 画 へ の 反 映	考 え 方
21	前期基本計画	1-1 子 育 て 支 援	将来目標人口（令和22年3800人、令和15年4500人）達成に向け、合計特殊出生率1.6への引き上げに対する具体的な施策をどう考えているか。	計 画 へ 反 映 済 み	地域における子育て支援の充実や切れ目のない伴走型支援の充実により、個別支援と地域づくりを意識してさらなる子育て支援の充実を進めます。
22			結婚適齢期の町民を町の宝と考え、結婚支援を充実させるべきと考える。 出産後だけでなく、「子どもを産める状態を作る」根本的な施策が重要である。	計 画 へ 反 映 済 み	町では、子どもを産み育てることに夢や希望、喜びを感じられる人間性の形成支援として、3、各種子育て支援において、子育て支援センターが軸となり、情報発信をしており、③こうのとりのサポート事業（不妊、不育治療）において助成を行っております。
23			子育て支援に関して、保育士さんの負担にはならないか。（専門員なのか？）	計 画 へ 反 映 済 み	保育士だけでなく、保護者、地域と連携を図り、社会全体で全てのこどもの育ちを応援し、全ての子育て家庭に対する支援を強化していきます。
24		1-2 教 育 環 境	西会津高等学校の町内への就職支援について、町内に"こういう仕事がある"というのが見える機会があるのか。	計 画 へ 反 映 済 み	現状と課題の「就職先の確保を支援する」という表記は、西会津高校で介護職員初任者研修の資格取得ができるよう支援することにより、介護人材を育成して町内の介護事業所への就職につなげることを意図するもので、他の職種を想定したものではありません。 なお、「町内に"こういう仕事がある"というのが見える機会があるのか」については、町の歴史や自然を活用した体験活動のほか、産官学民連携、地域住民の参画を得ながら地域を知り、次代を担う人材を育成するための教育の推進を計画に位置付けるとともに、地域学習や職場体験などの教育活動のなかで現に行われており、第5次計画においても引き続き推進してまいります。
25		1-3 生 涯 学 習	各地区に設置の分館の位置づけを明確化・積極評価するなどを通じて、地域における社会教育・生涯学習の活動にもっと関心が高まる仕掛け等がほしい。	反 映 し な い	地区行事の開催が困難になっている現状からのご意見の趣旨は理解できますが、歴史ある分館の位置づけそのものについては根本的に検討する必要がありますので、本計画期間（今のタイミング）においては明記するものではないと捉えています。
26			学ぶ機会は提供されていますが、それを生み出す部分に関してはどのような取り組みを考えているのか。例えば学んだ歴史などを本にし町外含めて販売を行うなど、実際にビジネスに繋がれるという道筋を町としてサポートする、もしくはそれを実現するために数万程度の投資などの支援など。 学ぶことだけだとどうしても発表などの機会はあるものの、それを少額でも良いのでビジネスにするという世界にもっていくことで、町の持続性につながるのではないかと。	反 映 し な い	生涯学習は様々な場や機会において行う学習であり、心豊かな人生を送ることや社会の変化に対応すること、人格を磨くことを目的としています。いただいたご意見は「生涯学習社会の構築」であり理解はできますが、ビジネスに関して本計画の学習領域における反映は趣旨が異なるものと捉えています。
27		1-4 ス ポ ー ツ	一人一スポーツというならば、簡単にそのスポーツにアクセスできる条件整備が必要だと考える。 例えば、卓球台等を常設として開放するなど。	計 画 に 反 映 済 み	「一人1スポーツ」はイメージであり、現実の中で一人一人が自らスポーツに取り組めるような意識の高揚を図ることを意味しています。今後もさゆり公園施設をはじめ、学校体育施設の開放などにより誰もが気軽にスポーツに取り組める環境づくりに努めます。

西会津町総合計画（第5次）公表案に関する意見等に対する計画への反映とその考え方

No.	素 案	該 当 分 野	意 見 ・ 質 疑 の 内 容	計 画 へ の 反 映	考 え 方
28	前期基本計画	1-5 歴 史 ・ 文 化 ・ 芸 術	重要文化財（特に個人所有）の整理・保存方法（一括収集・博物館化、個人任せ）についてどう考えているか。実物の保存についてはどうするのか。	反 映 し な い	個人所有の(指定)文化財はあくまでも個人の財産であるので、原則としてその管理については所有者にお願いしているところであります。 しかし、所有者の町外在住などにより、空き家で文化財を保管する事例が今後多く発生すると考えられることから、その場合は所有者等の意向を尊重し、個別に対応してまいりますので、今回の計画には記載いたしません。
29			各家庭にある本を無償提供してもらい、「古書図書館の創設」を空き家対策の一環として実施してはどうか。	反 映 し な い	古書の提供に関しては、その状態や内容を確認し選別している現状があります。本は様々なジャンルに分類されており、公としては総合的な場として図書館がありますので、私（民間）的に創設いただけることを願います。
30		2-1 農 林 業	有害鳥獣（イノシシ、クマ）による被害が深刻であり、地域産業への打撃が大きい。防護柵設置など、具体的な対策強化を早急に求める。	計 画 へ 反 映 済 み	ご指摘の防護柵の設置につきましては、町では電気柵の設置補助を実施しているほか、恒久柵の設置についても国の補助を活用して実施を検討している事例もございます。内容につきましては、5有害鳥獣対策の強化の主な実施事業①有害鳥獣対策事業に含まれています。
31			鳥獣被害防止に向けたの伐採費について、補助金などを検討するべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	ご指摘の伐採費の補助につきましては、5有害鳥獣対策の強化の主な実施事業①有害鳥獣対策事業に含まれています。なお、具体的な補助金については、実施計画等で検討してまいります。
32			移住者にとって安心できる環境づくりのため、有害鳥獣対策の柔軟で迅速な対応を求める。	計 画 へ 反 映 済 み	町でも有害鳥獣対策については、喫緊の課題であり重要であると考えております。具体的な内容については、5有害鳥獣対策の強化の主な実施事業①有害鳥獣対策事業に含まれています。
33			後継者不足による農地荒廃に対し、就農フローや条件など基礎的な情報を役場HPで示すべきである。	反 映 し な い	「HPへの掲載」は、新規就農者確保の1つの手法であり、総合計画は全体計画であるため、新規就農者確保のため細部の手法までは記載していません。 なお、ご提案の就農フロー等については、現在ガイドブックを作成中であり、完成次第HPにもアップする予定であります。
34			自然の良さと農作物が西会津の魅力であるならば、鳥獣被害対策の強化が必須である。	計 画 へ 反 映 済 み	町でも有害鳥獣対策については、喫緊の課題であり重要であると考えております。具体的な内容については、5有害鳥獣対策の強化の主な実施事業①有害鳥獣対策事業に含まれています。
35			鳥獣対策を強化することで、空き家、防災、後継ぎ、人口減少問題も解消する可能性がある。	計 画 へ 反 映 済 み	町でも有害鳥獣対策については、喫緊の課題であり重要であると考えております。具体的な内容については、5有害鳥獣対策の強化の主な実施事業①有害鳥獣対策事業に含まれています。

西会津町総合計画（第5次）公表案に関する意見等に対する計画への反映とその考え方

No.	素 案	該 当 分 野	意 見 ・ 質 疑 の 内 容	計 画 へ の 反 映	考 え 方
36	前期基本計画	2-1 農 林 業	「農林」の「林」（森林・林業・林材業）の分野に将来展望を持てる書き込みがほしいと考える。	計 画 へ 反 映 済 み	ご指摘の内容につきましては、2農地・森林の有効活用、3農林業経営の改善に含まれております。
37		2-3 観 光 ・ 交 流	真冬の雪が積もった田んぼを観光資源（月の光、静けさ、空の広がり）として活用すべきである。	反 映 し な い	計画内で「新たな視点を取り入れ観光資源としての価値や魅力を高め、」と記載があるため、具体的には記載しませんが、左記の活用も検討しながら、新たな観光コンテンツによる観光振興を図ります。
38			景勝地を造成し、外国人誘客につなげる。	計 画 へ 反 映 済 み	実現に向けた4年間の具体的な取組の「1 観光資源の発掘と磨き上げ（ブラッシュアップ）の中に「…守り引継ぎつつ、新たな観光資源の発掘と、」の文言を追加で記載しました。
39			イメージキャラクター「こゆりちゃん」のお相手をつくり、更なる町のPRに繋げてはどうか。	反 映 し な い	かつての「ゆるキャラブーム」が落ち着きを見せている中、新たなキャラクターをつくり、広く認知させていくのは難しい状況です。現時点では新たなキャラクターをつくる予定はありませんが、こゆりちゃんをより積極的に活用していく中で、必要に応じて対応を検討します。
40		2-4 移 住 ・ 定 住	町長が問題と考える「結婚」「住宅整備」に重点的に絞り、根本原因究明と具体的対策を求める。	計 画 へ 反 映 済 み	住宅整備については、計画書の中でも具体的な取組として掲載しており、「まちづくりのツボ」でも掲げています。ご意見の趣旨を十分に踏まえて事業を推進していきます。
41			町を離れた人々の気づきをヒアリングし、今後の議論や行動に活用すべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	現在は成人式で帰省した方へのアンケートや在京西会津会などで意見交換を行っていますが、今後は様々な機会を捉え、「5-1 協働のまちづくり」の「4年間の具体的な取り組み」「2 情報共有の推進」の中で、町を離れた方々の意見を聴取する場を設ける旨、記載しました。
42			空き家となった実家の解体費用補助金を検討すべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	空き家の解体費補助については既に事業化されており、まちづくりの分野4-4「消防防災・安全対策」に記載されています。 空き家解体につきましては、移住・定住を推進する施策とは趣旨が異なるため、本項目の中では記載はしません。
43			移住者が現金収入を得る困難さに対し、対策が必要である。	計 画 へ 反 映 済 み	移住された方のスタートアップとして、住まいや仕事場としての空き家利活用への支援をはじめ、創業や継業の支援、複業（マルチワーク）の仕組みづくりや地域おこし協力隊制度の導入など、計画書に掲載しています。 関係課や関係団体と連携し、必要に応じて既存制度の見直し・拡充を図るほか、新たな支援制度の創設など検討していきます。
44			空き家対策として、行政が個人間取引に介入するべきではないか。	反 映 し な い	不動産売買や賃貸借契約には専門の法律的な知識と資格が必要であり、町が契約行為に直接的に関与することはできないため、計画書には記載しません。 なお、個人間での取引に不安がある方には、空き家バンク制度の案内や、仲介できる町内の不動産業者を紹介するなど対応しています。

西会津町総合計画（第5次）公表案に関する意見等に対する計画への反映とその考え方

No.	素 案	該 当 分 野	意 見 ・ 質 疑 の 内 容	計 画 へ の 反 映	考 え 方
45	前期基本計画	2-4 移 住 ・ 定 住	デジタルを利用した町主導の体験型マッチングアプリで移住体験を計画するべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	町では移住体験ツアーや教育留学事業などを行っているほか、関係団体と連携し、大学や企業との交流事業を通じた関係人口づくりの取り組みを進めており、そのことは計画書にも記載しています。 ご意見のマッチングアプリにつきましては、様々なWebサイトやSNSによる情報発信の一つとして費用対効果を見極めながら導入の可否を検討します。
46			移住者や関係人口は「着火剤」とし、町を離れた世代が西会津での暮らしを選択肢にできるよう議論と行動を求める。	計 画 へ 反 映 済 み	『移住・定住』の具体的な取組「3 仕事づくり」の中で、ご意見の趣旨と同様の記載があります。
47			奥川地区に関しては、他地区より”時間・空気の流れ”が違うような気がします。都会で仕事、生活している人が、奥川に来ると癒されると言うことを聞きます。 交流人口や、移住人口を増やすためにも、奥川にも「Otame」を古民家を活用して築いてほしい。	反 映 し な い	奥川地区においては、町が管理している集落支援拠点施設「結」との棲み分け、さらには、現在交流事業等に活用している農家民泊や地域団体が運営する滞在拠点施設の運営を圧迫しないよう配慮する必要があります。 奥川地区に限らず、上野尻地区以外の地区への第2のお試し移住住宅の整備については、財政負担や維持管理の負担も伴うことから、現行のOtameの稼働率を上げることを優先しつつ、お試し移住希望者のニーズを十分に踏まえて検討してまいります。現段階では整備の予定はありません。
48		3-3 高 齢 者 福 祉	町内の高齢者福祉施設（特老）の費用が安く、順番待ちが発生している。 施設の増築や、一般老人施設入所時の町からの補助を検討しているか。	計 画 へ 反 映 済 み	介護3.0の理論を取り入れ、あるべき介護の姿・施設の在り方が検討され現在の施設を最大限に活用した改修・改築整備を進める方向です。今後整備を推進していくため、基本計画及び基本設計の策定を進めることとしております。
49			福祉施設の老朽化が進んでおり、高齢化社会をどう乗り切るかビジョンを明確に示すべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	3-3 高齢者福祉の中で、介護施設の整備推進を掲げています。
50		3-5 コ ミ ュ ニ テ ィ	人口減少に伴う集落、消防、行政などのスリム化の方向性について問う。	計 画 へ 反 映 済 み	3-5 コミュニティ 現在、高齢化率が80％を超えている集落を中心に、集落支援員や集落支援担当の地域おこし協力隊による巡回・見守り活動を行っております。今後、集落を維持することが困難になりつつある集落については、実際に相談いただいている例なども踏まえ、「住民との対話をしながら、町としての支援内容について検討します。」と記載しております。
51			人口減少・少子高齢化により運営に苦慮する自治区や集落の統合について、町としてどう考えているか。	計 画 へ 反 映 済 み	計画内の「3-5 コミュニティ」の中では「住民の思いに寄り添った集落が望む形の集落支援」と記載しています。 集落(自治区)の統廃合については、集落ごとに解決すべき課題の数や質が異なり、簡単にできるものではないと認識しています。 まずは、住民の皆さんが今後の集落運営に関してどのように考えているのか話し合う場を設けることが重要であり、町としてはそういった場に集落支援員等と同席させていただき、住民の皆さんとともに集落の今後について考えていきたいと思います。

西会津町総合計画（第5次）公表案に関する意見等に対する計画への反映とその考え方

No.	素 案	該 当 分 野	意 見 ・ 質 疑 の 内 容	計 画 へ の 反 映	考 え 方
52	前期基本計画	3-5 コ ミ ュ ニ テ ィ	人口減少で部落の行事や林道整備の人手が不足しており、大きな問題である。	計 画 へ 反 映 済 み	林道整備などいわゆる「人足」や集落行事における人手不足については、現在、奥川地区を中心に大学生や社会人などのボランティアの受け入れなどを行っている事例があります。 自治区からの要請に応じて、住民や集落の希望に沿った対応方法を集落支援員等とともに考えていくこととしています。
53		4-3 情 報 通 信	ラジオやワンセグが入らない難聴地域に対し、防災の観点から対策を求める。少なくともラジオが受信できるよう対策を講じるべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	ワンセグ放送は視聴できる機器の製造が終了している状況や、AMラジオ放送も国ではFM化やインターネットでのIP放送への移行を進めています。このような状況から、総合計画検討会議で、ご意見を踏まえて検討した結果、Wi-Fiのみならずラジオ等、あらゆる情報機器があるため、「Wi-Fi等を含む」と追記しました。
54			海外のインバウンド含めて携帯回線無しでWiFiが、どこまで必要なのかを再度考える必要がある。あったとしても見つからなければ利用できず、アンケート的にもみつけても繋がらなかったなどがあるのでいっそ道の駅以外は無くしてしまうなどもありだ考える。 その代わりにSIMの自販機等で費用補助して購入した金額の一部を道の駅のクーポンなどつけておき実質無料で数ギガのSIMが購入できるなどの方が運用コスト含めて安くすむなども考えられる。	反 映 し な い	国内におけるフリーWi-Fiの整備状況については、これまでインバウンドに対応するため多くの場所で整備が進められてきましたが、コロナ禍や携帯電話回線の低価格化や通信速度拡大（5G）、設備機器の更新等の環境変化により、公共施設におけるフリーWi-Fiの利用可能場所は減少傾向にあります。町ではWi-Fiのみならずラジオなど多様なメディアに対応した情報通信環境の充実を目指しており、国内の現状や情勢を踏まえながら、Wi-Fiに関する取扱いについて検討を進めていきます。
55		4-4 消 防 防 災 ・ 安 全 対 策	消防組織は資機材が多いが団員が不足しており、持続可能な運用体制の見直しを検討すべきである。	反 映 し な い	消防団員の減少による適正な定数管理、省力資機材の導入による体制維持・強化が課題となっています。このことは、総合計画検討会議でも課題として挙げられました。このため現状と課題にその内容を記述するとともに、具体的な取組の主な実施事業において、2-①消防団員の確保と育成、2-③消防支援隊の確保・育成・強化の中で整理し盛り込んでいます。
56			町内の防災無線内容を西会津公式LINEへ反映し、防災無線が聞き取りにくい地域への情報伝達を強化すべきである。ケーブルテレビや公式LINEなど、多様なツールを連動させることで緊急時の対応を迅速化できると考える。	反 映 し な い	災害時に備えた情報伝達手段の多重化対策は重要であると認識しています。このため、具体的な取組の主な実施事業の中に1-⑤防災行政無線整備事業（難聴エリア対策）2-②デジタル技術を活用した消防団の活動支援と防災情報の充実として整理し盛り込んでいます。
57			人口減少に伴う集落、消防、行政などのスリム化の方向性について問う。	反 映 し な い	人口減少や高齢化に伴い、消防団員の減少による適正な定数管理や、省力資機材の導入による体制維持・強化が課題となっています。このことは、総合計画検討会議でも課題として挙げられました。このため現状と課題にその内容を記述するとともに、具体的な取組の主な実施事業において、2-①消防団員の確保と育成、2-③消防支援隊の確保・育成・強化などを盛り込み消防防災組織の強化を図っていくこととしています。

西会津町総合計画（第5次）公表案に関する意見等に対する計画への反映とその考え方

No.	素 案	該 当 分 野	意 見 ・ 質 疑 の 内 容	計 画 へ の 反 映	考 え 方
58	前期基本計画	4-5 自 然 ・ 環 境 保 全	プルタブ・ボトルキャップ等の収集を町が主体で実施し、車椅子と交換するなどSDG s の精神で実施してはどうか。	反 映 し な い	西会津町のリサイクル率は、全国平均、県平均を下回っており、資源物のリサイクル率向上が課題となっています。このため、計画の中では、ごみ減量と不法投棄防止の推進の主な実施事業として2 -①4 R の取り組みの推進強化を盛り込んでいます。このたびのご意見については、リサイクル推進、並びに福祉活動などに貢献する具体的な取り組み方法の一つとして参考に検討させていただきたいと思います。
59			ゴミの増減と人口の増減を含んだ考え方がこの計画にはないと考える。人口は1割減ればゴミも1割軽減したのでKPI達成という計画になっているように見える。 ゴミの分別という行為に関しては「住民に対して個人の時間とコストを強いている」という考え方も必要。6000人近くの1日あたり数回はゴミ捨てするとして1分を使っていると想定すると、町として100時間/日は町民に負担をかけていると考え方をもち、そのコストに見合ったりサイクルになってるかを今一度検討が必要だと考える。	反 映 し な い	数値目標（K P I）については、単純に人口減少による減を反映させているわけではなく、広域ごみ処理計画及び町ごみ処理計画において、地域（個人・法人）の協力により、より細分化した分別による資源化、生ごみ処理の工夫などにより減量化を進め、地域内から排出される廃棄物を減少させる目標としています。なお、一人あたりの排出量としても排出量を捉え、ごみ減量の評価に加えて計画を管理しています。
60		5-1 協 働 の ま ち づ くり	「協働のまちづくり」プロジェクトの最終結果や過去事例を整理し、理解を深める情報提供を求める。	計 画 へ 反 映 済 み	計画内で「協働のまちづくりの必要性を啓発し、」と記載されております。その具体的な啓発方法については記載しませんが、ご意見の趣旨を踏まえ町ホームページ等でお知らせすることといたします。
61			プロジェクト選定基準や住民の意思反映方法、開始までのフローを共有し、今後の参画者を増やすべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	5-1 協働のまちづくり 数値目標（KPI）において、協働のまちづくり活動プロジェクト数の増加を掲げております。具体的な実施事業として記載していませんが、R7年度より協働のまちづくり推進委員会に新規プロジェクトの選定等について関わっていただく仕組みについても検討しております。
62			オンライン（非同期）とオフライン（同期）のミックスをいかに繰り返すかが思いついたことをすぐアウトプットできる、いっぱなしで終わらず理解を深めるなどにつながる。少人数でも集まれるときにカフェ的に気軽に議論できるような世界はあると良いが、最初数回は人がくるけど後半は参加0人とか多発しそうなので啓蒙活動も含めた仕組み作りも必要ではないか。	計 画 へ 反 映 済 み	協働のまちづくりでは具体的な取組として「情報共有の推進」と「町民が主体となった協働のまちづくりの推進」により、幅広い世代からの意見の町政への反映と、多くの町民の参画によるまちづくりを目指すことを記載しております。ご意見の趣旨を踏まえ、より多くの方が気軽に参画できる仕組みづくりと、誰もが地域課題を「我がこと」として主体的に取り組む意識改革を推進していきます。
63		5-2 行 財 政 運 営	人口減少に伴う集落、消防、行政などのスリム化の方向性について問う。（行政のスリム化について）	計 画 へ 反 映 済 み	将来の人口減少による財政規模の縮小や安定した職員確保が難しくなっている現状等を踏まえれば行政のスリム化は必須だと思われるため、「1.効率的効果的な行政の推進」に追記することとしました。

西会津町総合計画（第5次）公表案に関する意見等に対する計画への反映とその考え方

No.	素 案	該 当 分 野	意 見 ・ 質 疑 の 内 容	計 画 へ の 反 映	考 え 方
64	前期基本計画	5-3 新たなまちづくり	山間地域の有害鳥獣問題深刻化による消滅危機を鑑み、町中心部の活性化に特に力を入れるべきではないか。 地域全体の活性化を進めるにしても、最後に残る地域はどこかという視点での検討が必要である。	計 画 へ 反 映 済 み	地区別デザインに記載した通り、5地区がそれぞれ地区の特色を生かした地域づくりに取り組んでいきます。最後に残る地域がどこになるかの予測は難しいと考えておりますが、ご意見を踏まえ4年間の取り組みの方向性に、「野沢・尾野本地区等の町の中心エリアについては、協働のまちづくりの考え方に基づき整備計画を検討していきます。」と追記しました。
65	地区別デザイン	野 沢	地域資源「ふるさと自慢館」の具体的な利活用策に関する議論を促してほしい。	計 画 へ 反 映 済 み	ご意見を踏まえ、総合計画検討会議で検討を行い、野沢地区の地域資源に追加しました。
66			観光スポットとして、安座の高速道路下をくぐった先の川の景観（西会津のスイス）を資源に加えるべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	ご意見を踏まえ、総合計画検討会議で検討を行い、野沢地区の地域資源に追加しました。
67			野沢地区の魅力である「食」と「観光」をブラッシュアップし、メディアも活用すべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	野沢地区の「計画期間中実施予定の主な取り組み等」に観光資源の発掘と磨き上げ（ブラッシュアップ）として記載しております。
68		尾 野 本	尾野本地区の将来デザインのキャッチフレーズから「沼」を削除すべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	ご意見を踏まえ、総合計画検討会議で検討を行い、尾野本地区の将来デザインを変更しました。
69			公共施設や学校施設が集まっている利点を最大限に活用すべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	「尾野本地区をこんな地区にしていきたい」の中に記載されています。
70		群 岡	上野尻では商店や飲食店、図書館スペースにより賑わいが向上しているが、活用されていない遊休不動産（JR上野尻駅旧JA店舗部分、旧群岡中学校周辺の旧公共施設）の活用可能性を見出すべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	ご意見を踏まえ、総合計画検討会議で検討を行い、現時点で活用可能だと思われる「旧群岡中学校」を地域資源に加えました。
71		新 郷	他地区と比べて記述量が少ない。 地域資源として「町として初の圃場整備事業実施箇所（上の原地区）」「五升まき」「（枯れない）高目の清水」「木地師の墓（移設）」「正源寺の裏の山の歴史的由来」などがある。	計 画 へ 反 映 済 み	ご意見を踏まえ、総合計画検討会議で検討を行い、新郷地区の地域資源を見直しました。
72		奥 川	「奥川らしい 自然を楽しみ、”結”を育む」にインパクトが少ない気がする。”癒し””空間””身体、心”などを加えてはどうか。	計 画 へ 反 映 済 み	ご意見を踏まえ、総合計画検討会議で検討を行い、奥川地区の将来デザインを「奥川らしい 風景を残し 自然を楽しみ ”結”を育む」と変更しました。
73			高齢化率の高い奥川地区の地区別デザインにおいて、高齢化への取り組みを位置付けるべきである。	計 画 へ 反 映 済 み	ご意見を踏まえ、「高齢者福祉の推進」を追加しました。なお、高齢化に対する取り組みは町全体に関わる内容のため、全地区の実施予定の主な取り組みに追加しております。